

ひめじし  
姫路市における魅力的で安全安心な住宅市街地及び町並みの形成  
（第4回変更）

ひょうごけん ひめじし  
兵庫県 姫路市

平成25年12月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成25年12月16日

計画の名称	1 姫路市における魅力的で安全安心な住宅市街地及び町並みの形成		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	姫路市
計画の目標			

狭あい道路を調査・整理あるいは拡幅整備することにより、安全で安心できる住宅市街地の形成を図る。  
また、地域の生活文化の様式を今に伝え伝統ある都市の個性を表すとともに、高齢者や障害者など全ての人が安全かつ安心して暮らせる町並みの形成を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・姫路市における狭あい道路を調査し整理した路線の割合
- ・野里街道でのまちづくりイベントへの来訪者数 1,800人（H21）を2,200人（H26）に増加
- ・野里街道地区における修景補助件数 5カ年で15件

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考
(H22当初)	(H24末)	(H26末)	
31%	50%	70%	
1800人	1,980人 10%増	2,200人 22%増	
0件	9件	15件	

姫路市における狭あい道路の調査整理した路線の割合を算出する。  
 (狭あい道路の調査路線の整理率) = (調査整理された路線数) / (姫路市内の狭あい道路の全路線数 約9,600) (%)

まちづくりイベント開催時に来訪者数を調査  
 (イベント時の来訪者数増加率) = (評価年度5月の来訪者数-H21年5月の来訪者数) / (H21年5月の来訪者数) (%)

野里街道地区修景施設整備事業補助金交付要綱に基づき、歴史的町並み景観の形成に寄与すると認められる修景等を行ったとして、経費の一部を補助した件数。

全体事業費	合計 (A+B+C)	275百万円	A	251百万円	B	0百万円	C	24百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	8.7%
-------	---------------	--------	---	--------	---	------	---	-------	---------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業												全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)							
								H22	H23	H24	H25			H26	
1-A-1	住宅	一般	姫路市	直接	市	狭あい道路整備等促進事業	指定道路図作成(安富町・夢前町)							13	
1-A-2	住宅	一般	姫路市	直/間	市/個人	街なみ環境整備事業(野里街道地区)	修景補助、舗装美化、街路灯設置等							233	
1-A-3	住宅	一般	姫路市	直接	市	バリアフリー環境整備促進事業	基本構想策定(姫路駅・白浜の官駅・英賀保駅・網干駅)							5	
合計												251			

B 関連社会資本整備事業												全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)						
										H22	H23			H24	H25	H26
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考

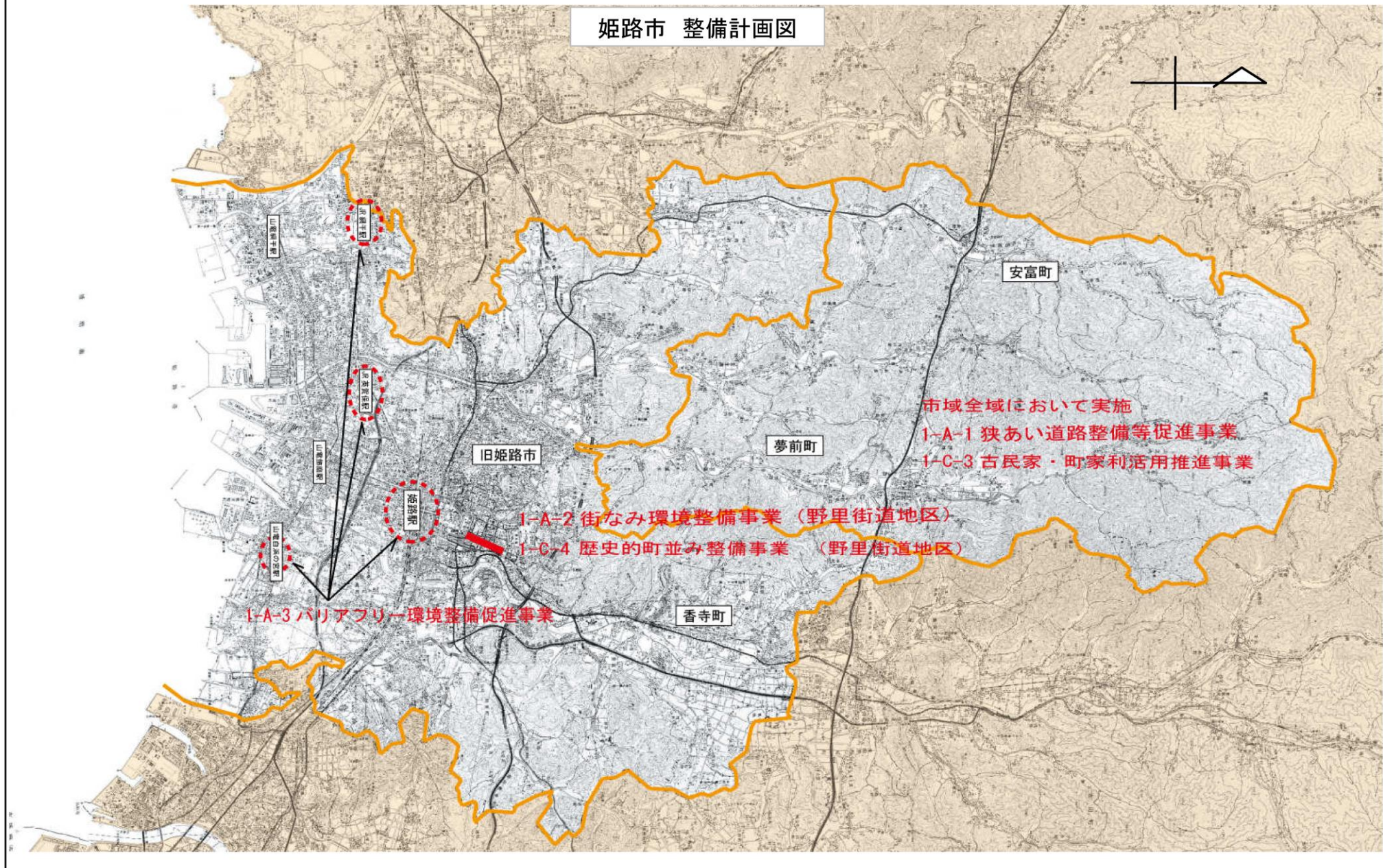
C 効果促進事業												全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)						
										H22	H23			H24	H25	H26
1-C-3	住宅	一般	姫路市	直接	市	-	古民家・町家等利活用推進事業	PR,バンク,相談会,調査等	姫路市						20	
1-C-4	住宅	一般	姫路市	直接	市	-	歴史的町並み整備事業(野里街道地区)	道路美装化工事等	姫路市						4	
合計												24				

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
1-C-3	1-A-2と一体的に実施することにより、市内全域において良好な町家や古民家を改修し利活用することにより、魅力的な町並みの形成を実現する。										
1-C-4	1-A-2周辺地区においても一体的に歴史的町並み景観整備を行うことにより、魅力的な町並みの形成を実現する。										

(参考図面) 地域住宅支援

計画の名称	1 姫路市における魅力的で安心安全な住宅市街地及び町並みの形成	交付対象	姫路市
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)		

姫路市 整備計画図



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(地域住宅支援)

計画の名称: 姫路市における魅力的で安全安心な住宅市街地及び町並みの形成

事業主体名: 姫路市  
チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等と整合している。	○
②緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 <small>(該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新      ㊦ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保      ㊧ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進      カ 地方定住の推進 ㊨ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)</small>	○
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	○
⑤事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
⑥地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②継続的な事業の展開が見込める。	○
③住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
④計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	○